



小幡小学校の取り組み

各学年の思い出を紹介しします

学校教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「元気な子」の実現に向けて、勉強や運動を頑張っている各学年の児童の様子を紹介しします。

小幡小学校  
校長 大竹康史  
児童 152人



小幡小ホームページ

「教育のひろば」とは  
各学校の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校の教員です。

一年生

たのしかった一年生「らく山えん」  
まるさわ めい

せいかつかで、らく山えんへ、はる・なつ・あき・ふゆの四かいきました。はるのらく山えんは、花がきれいでした。なつは、みどりがいきれいでした。あきは、いろいろどりのおちばがきれいでした。まつぼっくりひろいもしました。ふゆは、いけがこおつてびびくりました。らく山えんはきせつごとにぶつけいがかわるので、おもしろいです。

二年生



三年生



楽しいリコーダー

北村 彩乃

三年生になって、新しくリコーダーが始まりました。わたしは、音楽のじゅ業は大好きです。いろいろな音をおぼえて、むずかしい時もあるけど、それができたら、ものすごくうれしいです。もっとむずかしい曲をできるように、練習をがんばりたいです。



がんばった運動会

二年生でがんばったこと

やなぎさわ ゆい

わたしが二年生で一番がんばったことは、かけ算です。

一のდანから九のდანまでれんしゅうをかさねて、あきらめかけたけど、がんばりました。あきらめなかったからできました。

三年生になったら、わり算をがんばりたいです。



リコーダー練習

四年生



四年生の思い出

岡本 優那



運動会集合写真

四年生で心に残った思い出は、

運動会です。リレーで、わたしにバトンが回ってきた時にみんなが大きな声で、「がんばれー！やいけるよー」とおうえんしてくれたのでとてもうれしかったです。

けっかは二位だったけど、いやな思いはぜんぜんしませんでした。いっしょうけんめいおうえんしていたみんなは、わたしの中で一位でした。

提言

地域の核となる学校



小幡小学校  
教頭 新井 綱人

今から40年以上も前に私が卒業した秋畑小学校の当時の同級生の人数は、本校15人・分校9人の計24人で、現在の小幡小学校6年生(27人)とほぼ同じくらいでした。時を経て現在の小幡小学校に通う秋畑地区の児童は、全学年でわずか2人となっています。

秋畑小学校の全校児童数のピークは1945(昭和20)

年の687人という記録があります(同年の小幡小学校は1234人)。当時を知る母の話によると、子どもたちは学校から帰ってくると山に入り、まきやたき木に使う木を集め、

それを仲買人が買い取りに来ていたそうです。秋畑地区に隣接する藤岡市御荷鉾地区には炭焼きを営んでいた家が多く、その炭を歩いて運ぶ秋畑地区の住民も多くいたようです。山林を背景とした産業に加え、当時は口ウ石などの採掘業が盛んで、移り住む人も多くいたとのこと。

そんな秋畑地区の小学校が閉校し、小幡小学校と統合した平成25年以降、秋畑地区の過疎化が一層進んでいる印象です。

今年度から町内の小中学校でスタートした「コミュニティ・スクール」は、地域とともにある学校づくりを目指すものです。学校の運営や教育活動において、地域の方々の活躍の機会を設けることで、学校も地域も元気になることが期待される新しい学校の形です。

学校が「地域の核」となり、学校と地域が一体となって子どもたちの成長に関わっていただけるよう、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

五年生



五年生の思い出

茂原 洸貴

一つ目は運動会です。運動会はみんながんばっていて、楽しくできたところをふり返って、とてもいい思い出だと思います。

二つ目は校外学習です。上毛新聞印刷センターとガトーフェスタハラダに行きました。新聞は赤、青、黄、黒の四色を使って刷っていると学びました。ガトーフェスタハラダでは、ラスクがいっぱいあって香りもよかったです、とても満足でした。

六年生



六年生の思い出

坂庭 華和



修学旅行班別行動

一年を振り返って

坂庭 華和

私は、この一年間を振り返って、いろいろなことができるようになった。また。

一つ目は、時間内に移動することです。修学旅行の班別行動で、時間内に待ち合わせ場所に行けました。二つ目は、鼓笛です。曲に合わせて演奏ができました。三つ目は、掃除です。面倒だなと思う時や長時間でも掃除ができるようになりました。できるようになって、自信が持てるようになりました。